

有害プランクトン情報

(令和5年度 - No. 3)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾で沖合のプランクトン調査を行っている他、県内の貝類漁場でもプランクトンの出現状況を調べています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	6月 第1回	内湾 (8地点)	6/7	内房 (7地点)	6/5
		6月 第2回	内湾 (8地点)	6/20	内房 (7地点)	6/21
	貝類漁場内	九十九里地区	6/6, 12, 15, 26, 27 (生産技術研究室が担当)			
		鴨川	6/27 (生産技術研究室が担当)			
		千葉北部地区	6/5, 21	木更津北部地区	6/8, 21	
		木更津南部地区	6/5, 19	富津地区	6/7, 27	

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を发出します。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 µg/L 以上) はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場および貝類漁場内でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 6/8 木更津北部地区 (貝類漁場) 密度は 0.1 細胞/mL
 - ・ 6/20 船橋と盤洲南を除く内湾の全域 (沖合) 最高密度は羽田沖の 0.4 細胞/mL
 - ・ 6/21 千葉北部地区 (貝類漁場) 密度は 1.0 細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 6/20 富津, アクア北, アクア南, 盤洲北 (沖合) 密度はいずれも 0.05 細胞/mL

○ 貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。

- ・6/5 大貫（沖合） 密度は0.05 細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンデータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・6/21 富津南，大貫（沖合） 密度はそれぞれ0.1 細胞/mL，0.05 細胞/mL
（貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載）

鴨川海域

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属，シュードシャットネラ属，ヘテロシグマ属，カレニア属は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 貝毒の被害情報はありませんでした
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 貝毒の被害情報はありませんでした
 （貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載）

九十九里海域(旭～一宮沖貝類漁場)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属，シュードシャットネラ属，ヘテロシグマ属，カレニア属は確認されませんでした。

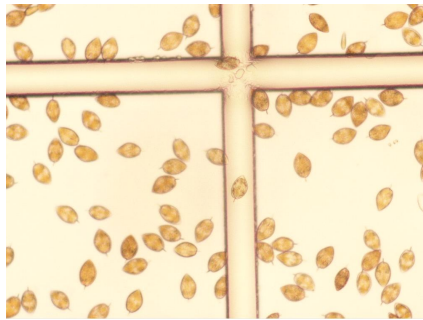
【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 貝毒の被害情報はありませんでした
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 貝類漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・6/6 九十九里（貝類漁場） 密度は0.55 細胞/mL
 - ・6/15 九十九里（貝類漁場） 密度は1.50 細胞/mL
 - ・6/26 九十九里（貝類漁場） 密度は0.80 細胞/mL
 - 貝類漁場でディノフィシス コウデータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・6/26 九十九里（貝類漁場） 密度は0.25 細胞/mL
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。
 （貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載）

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

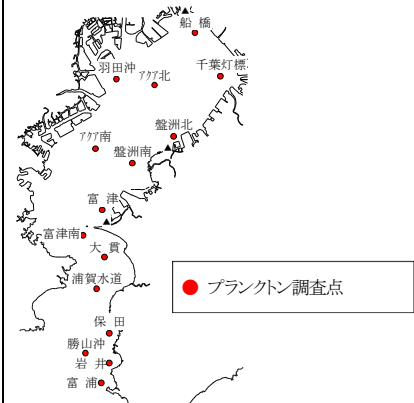
6/5, 7 内湾・内房 渦鞭毛藻プロロセントラム属など

6/20, 21 内湾・内房 珪藻スケレトネマ属, 渦鞭毛藻プロロセントラム属, 珪質鞭毛藻エブリア属など



プロロセントラム属
(6/7 富津)

○ 調査点 (沖合漁場)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp